（別紙4（2））

事業所名：グループホームうきうき

作成日： 令和 5 年 3 月 27 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	・一人ひとりの尊厳ある生活の為、意思の尊重と受容、共感をする気持ちを持ち続ける為に、年間の介護職員向けの研修を実施し、職員個々のスキルアップと意識の共有を図りたい。	・毎月の社内研修を実施する事で、入居者の尊厳と日々の声掛けや対応について、意識的に対応すると共に、特に注意し実践出来るようになる。	・毎月の研修内容は管理者が把握し、各フロアごとのユニット責任者と中核職員を中心とし、課員へ対して、率先垂範の意識と自覚を持ち、研修会だけでなく、日々の業務の中で示していく。	12ヶ月
2	3	・コロナ禍で中止にしていた、認知症カフェの開催に際して、以前参加頂いていた利用者が高齢により参加できなくなり、新規のカフェ参加希望者を募りたい。	・宇土市で地域の方（松原区）含む、困りごとを抱えた家族や、独居の方を対象者として迎え、交流場として地域貢献したい。	・地域包括や社協の担当者と情報共有し、カフェを開催し、地域貢献しながらも、対象者へ対して困りごとの相談や認知症介護の相談に関して、又その後の入居相談等に繋げていきたい。	12ヶ月
3	6	・身体拘束をしないケアの実践に関して、トイレの訴えが頻回にある利用者に対して（ちょっと待って下さい」といったスピーチロックにあたるような言葉掛けを違う言葉に言い換えて対応していく。	・身体拘束ゼロに向けての取り組みの継続と同時に、拘束にあたる言葉や行動を介護職員全員が理解し、利用者が安らぎのある生活を送って頂けるよう、質の高い介護サービスを提供する。	・身体拘束委員会やケアカンファの時だけではなく、運営推進会議でも、事故事例の検討や、日頃スタッフが抱えている介護の苦労を第三者へ共有し、ご家族様にも理解を頂くと共に、第三者視点でのアドバイスも積極的に受けていきたい。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。